

#### 4 市議会のあゆみ（昭和46年から）

年	議会の動き
昭和46年 (1971年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田の常備消防を廃止し、飯田市・鼎町・上郷町消防組合へ全面移管するための規約改正を可決</li> <li>・議長 近松宗一、副議長 今村輝男を選出</li> <li>・昭和45年から始まったコメの減反政策について多くの質問があった</li> <li>・鼎、上郷との合併を積極的にすすめるよう質問があった</li> <li>・中央自動車道の早期着工と四車線化を求める意見書を可決</li> <li>・中央道遺跡発掘に伴う埋蔵文化財を収蔵・展示する資料館の建設を求める質問があった</li> <li>・日中国交回復を求める決議がされた</li> <li>・アメリカのドル防衛措置に対して、地元産業の育成策をただす質問があった</li> <li>・県下に先がけて「モーテル建築の規制に関する条例」を可決</li> </ul>
昭和47年 (1972年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民憲章の制定について質問があった</li> <li>・市立病院運営審査特別委員会が市立病院の総合病院化を目指す必要性を検討</li> <li>・PCBなど公害の検査機能の充実を求める質問があった</li> <li>・国民体育大会のラグビー等の競技を飯田において開催できるよう県に対して陳情を行った</li> <li>・飯田市公民館の全面改築を求める陳情を採択</li> <li>・乱開発による環境破壊を防止して郷土の自然を守るため、「自然環境保全条例」を可決</li> <li>・中津川線の見通しと中央新幹線構想についての質問があった</li> <li>・市議会議員補欠選挙</li> <li>・松澤市政の誕生に伴い、その政治姿勢について、活発な質問がなされた</li> <li>・中央自動車道関連の道路整備などを要望する質問があった</li> <li>・福祉や教育施策充実を要望する質問があった</li> </ul>
昭和48年 (1973年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人医療費を無料化する対象年齢を69歳に引き下げる条例を制定</li> <li>・飯田に大学を設立すべきとする質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 伊原悦雄、副議長 新井安男を選出</li> <li>・中央道開通後予想される騒音、排気ガス、電波障害等の公害対策について質問があった</li> <li>・老朽化がすすむ小中学校の早期改築を求める質問があった</li> <li>・オイルショック、物価高、モノ不足に対する対策を求める質問が集中</li> <li>・鼎、上郷との合併の推進を求める質問が集中</li> <li>・石油危機打開を求める意見書を可決</li> <li>・中央新幹線の早期建設と飯田への駅設置を求める意見書を可決</li> </ul>

年	議会の動き
昭和49年 (1974年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会計予算に関して予算審査特別委員会で賛否の結論が出ず、「六月段階で措置されるよう市長に要望する」という議長斡旋で收拾され、可決</li> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する条例案に関して、し尿の収集料金の改定について意見が分かれ、最終日を迎えても結論が出ないため、議会の会期を延長して審査を行い、委員会修正案を可決</li> <li>・国保税率の決定にあたって、特別委員会の意見を踏まえ、市長が税率を下方修正する原案の訂正を行って可決</li> <li>・中央道開通を間近に控え、地場産業振興や観光振興策、あるいは公害対策を求める質問があった</li> <li>・教育文化センター（新飯田市公民館）の建設構想について質問があった</li> <li>・西部統合中学の計画について、地元対策をただす質問があった</li> <li>・東中学校の火災で緊急に議会全員協議会が開かれた</li> <li>・飯田市民の消費生活を守る条例を可決</li> </ul>
昭和50年 (1975年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央道の恵那山第二トンネルの早期着工を求める意見書を可決</li> <li>・中津川線の建設見通しをただす質問があった</li> <li>・議長 伊原悦雄、副議長 林 昌平を選出</li> <li>・中央道開通に伴う飯田 I C 周辺の道路整備、公害対策、観光開発、産業振興策について多くの質問がされた</li> <li>・窮迫した地方財政のもとでの市行政について集中論議が行われた</li> <li>・開通した中央道の恵那山、網掛トンネル前後の40キロ規制の緩和を求める意見書を可決</li> <li>・風越高校の跡地利用について質問があった</li> <li>・中央道の騒音公害対策や天竜峡付近の交通渋滞の解決を求める質問があった</li> </ul>
昭和51年 (1976年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜から未明に及ぶ議会において、市議会議員の定数をそれまでの36名から30名に減少する条例が可決された。一口に「暁の本会議」と言われている</li> <li>・市長が提案した国保税率の引上げ率が下方修正して可決</li> <li>・付加価値税新設に反対する意見書を可決</li> <li>・工場再配置補助金問題調査特別委員会と駅前観光案内所問題調査特別委員会を設置</li> <li>・市議会議員補欠選挙</li> <li>・ニホンカモシカの食害対策を求める意見書を可決</li> <li>・風越高校跡地利用に関して、警察署の建設と、東中学校の建設を求める陳情が出され、その対応で慎重な審査がされた</li> <li>・メッキ工場の建設を求める質問があった</li> </ul>

年	議会の動き
昭和52年 (1977年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人医療費特別給付金の一部改正条例を修正可決</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 林 昌平、副議長 松江良夫を選出</li> <li>・広域水道の統合について質問があった</li> <li>・飯田駅前再開発を求める質問があった</li> <li>・円高不況対策について質問があった</li> </ul>
昭和53年 (1978年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長姫高校の移転を想定した跡地利用について質問があった</li> <li>・水道事業の統合が特別議決をもって可決</li> <li>・中央新幹線・中津川線建設促進特別委員会を設置</li> <li>・市立図書館の改築について質問があった</li> <li>・合併促進特別委員会が設置された</li> <li>・国道153号線バイパスの建設促進を求める意見書を可決</li> <li>・中学生が教師を殴打した事件について質問が集中</li> </ul>
昭和54年 (1979年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人医療費の無料化を65歳までとする条例を可決</li> <li>・国際児童年に対する取組について質問があった</li> <li>・議長 林 昌平、副議長 片桐 勲を選出</li> <li>・地震防災対策強化地域の指定に関して質問があった</li> <li>・駅前、知久町、銀座、本町など旧市街地の再開発について質問があった</li> <li>・果樹共済制度の改善に関する意見書を可決</li> <li>・モデル定住圏の指定に関して質問があった</li> <li>・県営野球場の誘致と総合運動公園の整備について質問があった</li> <li>・一般消費税創設反対に関する意見書を可決</li> <li>・市立病院の総合病院化について質問があった</li> </ul>
昭和55年 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国鉄経営再建促進特別措置法案の見直しを求める意見書を可決</li> <li>・中津川線を断念し、中央新幹線建設促進に乗換えたかどうかとする質問があった</li> <li>・土地買収に関する土地開発公社の不手際等について調査特別委員会を設置</li> <li>・大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の自主的平和統一に関する意見書を可決</li> <li>・カモシカの食害防止策についての意見書を可決</li> <li>・西部統合中学の改築計画の進捗状況について質問があった</li> <li>・土地開発公社をめぐる不祥事について質問が集中</li> <li>・アメリカシロヒトリの防除対策について質問があった</li> <li>・B型肝炎への対策について質問があった</li> <li>・市議会議員補欠選挙</li> </ul>

年	議会の動き
昭和55年 (1980年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土の返還促進などを求める意見書を可決</li> <li>・川路、龍江の天竜川流域の災害危険区域条例撤廃に関して質問があった</li> </ul>
昭和56年 (1981年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産業振興センターの建設について質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 林 昌平、副議長 松江良夫を選出</li> <li>・国際障害者年に際しての取組について質問があった</li> <li>・中央新幹線、飯田線の強化、中津川線問題を審議する鉄道問題特別委員会を設置</li> <li>・婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条例の早期批准を求める意見書を可決</li> <li>・国鉄飯田線の合理化計画撤回等に関する意見書を可決</li> <li>・若者が定着できるよう企業誘致条例の復活を求める質問があった</li> <li>・地元との調整が長引く西部統合中問題について、多くの質問があった</li> </ul>
昭和57年 (1982年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時議会において、伊賀良と山本の両中学校を統合し、昭和60年に新たに西部中学校として発足することが可決</li> <li>・長姫高校跡地のあり方について質問があった</li> <li>・統合中学の進捗状況について多くの質問があった</li> <li>・A議員の問責決議案が可決</li> <li>・市民の直接請求による西部統合中学校を廃止する条例案を否決</li> <li>・飯田市・鼎町合併協議会の設置を可決</li> <li>・飯田線の分割・民営化反対に関する意見書を可決</li> </ul>
昭和58年 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院の経営改善と改築について審査するため、病院問題特別委員会を設置</li> <li>・飯田市農協、中央農協の合併の推進について質問があった</li> <li>・議長 松嶋健次、副議長 平沢與一を選出</li> <li>・農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止に関する意見書を可決</li> <li>・大中型店の出店の動きと丘の上商店街の活性化について質問があった</li> <li>・美術博物館の構想について質問があった</li> <li>・コンピューター導入に伴うプライバシー保護の問題、あるいは情報公開制度について質問があった</li> <li>・西部統合中学校の名称を「旭ヶ丘中学校」とする条例改正案を可決</li> <li>・10万都市実現のため、鼎、上郷との同時合併を求める質問があった</li> <li>・9月28日の10号台風による災害復旧を検討するため、緊急に臨時議会が開かれ10号台風災害対策特別委員会と、天竜水系治水災害対策特別委員会を設置</li> </ul>

年	議会の動き
昭和58年 (1983年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40人学級早期実現に関する意見書を可決した</li> <li>・松くい虫対策について質問があった</li> <li>・川路、龍江、竜丘の災害危険区域に関する今後の対応について質問があった</li> </ul>
昭和59年 (1984年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三遠南信自動車道の実現の可能性について質問があった</li> <li>・非核平和都市宣言を可決</li> <li>・人種差別撤廃条約の早期批准に関する意見書を可決</li> <li>・天竜川治水対策と天竜峡の景観保全について質問があった</li> <li>・鼎町との合併に関する議案審議のため臨時議会が開かれ、12月1日の合併を全会一致で議決</li> <li>・市職員に60歳の定年制を導入する条例を可決</li> <li>・国鉄の分割民営化反対に関する意見書を可決</li> <li>・市議会議員の定数を31名に減少する条例を可決</li> <li>・新しい街づくりの中での鼎地区の位置付けについて質問があった</li> <li>・天竜川の恒久的な治水対策を求める意見があった</li> <li>・テクノハイランド構想について質問があった</li> </ul>
昭和60年 (1985年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スパイクタイヤの粉じん公害について質問があった</li> <li>・上郷町との早期合併を求める質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 松嶋健次、副議長 平沢與一を選出</li> <li>・指紋押捺問題に関連して、外国人登録法の改正に関する意見書を可決</li> <li>・ゴミ焼却場移転問題について質問があった</li> <li>・国鉄飯田線の分割民営化の動きに関して質問があった</li> <li>・若者の定住対策と企業の育成策について質問があった</li> <li>・路線バスの廃止問題が質問された</li> <li>・鼎との合併一年後の評価について質問があった</li> <li>・学校の「いじめ」問題について質問があった</li> <li>・世界人形劇フェスティバル開催(1988年)に名乗りを上げることの質問があった</li> <li>・婦人の地位向上のための施策について質問があった</li> <li>・高齢化が一層すすむ中で、在宅福祉について質問があった</li> </ul>
昭和61年 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上郷町との合併に向けた取組について質問があった</li> <li>・コンピューター専門学校の建設費について質問があった</li> <li>・市立病院の赤字と院長人事問題で特別委員会を設置</li> <li>・院長解任に伴う市立病院の正常化について質問があった</li> <li>・大型間接税の導入は慎重に対処すべきという旨の意見書を可決</li> </ul>

年	議会の動き
昭和61年 (1986年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国引き揚げ孤児の定住援護策について質問があった</li> <li>・美術博物館の性格と財源について質問があった</li> <li>・公文書の公開条例と、個人情報の保護条例を可決</li> <li>・暴力団追放都市宣言を可決</li> <li>・飯田工業高校の移転に伴う跡地利用について質問があった</li> </ul>
昭和62年 (1987年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上げ税導入に反対する意見書を可決</li> <li>・美術博物館建設特別委員会を設置</li> <li>・中央新幹線、三遠南信自動車道の建設促進について質問があった</li> <li>・エイズ対策について質問があった</li> <li>・議長 平沢與一、副議長 細田直彦を選出</li> <li>・屋外広告物に係る環境美化等に関する条例を可決</li> <li>・老人福祉の中間施設の計画について質問があった</li> <li>・市政50周年記念事業として、中学生による子ども議会が開かれた</li> <li>・市立病院の移転決定と、地元対策について質問があった</li> <li>・世界人形劇フェスティバルの準備状況と、シャルルヴィル・メジエール市との姉妹都市締結について質問がされた</li> <li>・中央新幹線の飯田経由と駅舎設置に関する決議を行った</li> <li>・東中学校の教師死亡に関して質問があった</li> <li>・人形劇場の入札が保留になったことについて質問があった</li> </ul>
昭和63年 (1988年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランスのシャルルヴィル・メジエール市と国際友好都市の締結をすることを可決</li> <li>・美術博物館の職員体制や、運営について多くの質問があった</li> <li>・三遠南信自動車道の竜東地域にインターチェンジを求める質問があった</li> <li>・新しい市立病院の整備方針（マスタープラン）を了承</li> <li>・上郷町との合併協議30項目を了承</li> <li>・天竜川治水対策、四者協議の結論を了承</li> <li>・ギフチョウの保護対策について質問があった</li> <li>・市議会議員補欠選挙 副議長 関島一郎を選出</li> <li>・コメの市場開放阻止に関する意見書を可決</li> <li>・保育園の空き室を託老所にする質問があった</li> </ul>
平成元年 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税導入に関して賛成、反対の論議が集中</li> <li>・リニア新幹線が停まるまちづくりについて質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 塩澤 昭、副議長 竹村仁實を選出</li> <li>・土曜閉庁関連条例を可決</li> <li>・新市立病院建設の基本計画を了承</li> </ul>

年	議会の動き
平成元年 (1989年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有線放送局の不祥事に関して質問が集中</li> <li>・長野の冬季五輪招致への考え方について質問があった</li> <li>・学校教育における日の丸掲揚と君が代斉唱についての考え方について質問があった</li> <li>・天竜川治水対策の基本計画を了承</li> <li>・有線放送を廃止し、オフトーク通信システムを導入することを了承</li> <li>・土地利用計画の策定の必要性について質問があった</li> </ul>
平成2年 (1990年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税導入を想定した新年度予算に関して賛否両論の議論が展開された</li> <li>・有線放送局不正経理事件について質問が多くされた</li> <li>・中国からの帰国者のために日本語学級を開設するよう質問があった</li> <li>・県議会議員の飯田市区定数1名増を求める意見書を可決した</li> <li>・飯田駅貨物用地跡地利用に関して質問があった</li> <li>・天竜峡温泉の交通渋滞の解消、下水道の整備等について質問があった</li> <li>・松尾地区の内水排除について質問があった</li> <li>・登校拒否児童への適切な指導を求める質問があった</li> </ul>
平成3年 (1991年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長 竹村仁實、副議長 松江良夫を選出</li> <li>・竜東地区の開発計画について質問があった</li> <li>・農村集落の活性化を図る地域マネジメント事業について質問があった</li> <li>・議長 實原 裕、副議長 内山照美を選出</li> <li>・松くい虫の被害が広がる深刻な事態に対して質問があった</li> <li>・土地利用政策審議会の設置を求める質問があった</li> <li>・りんご並木の整備構想について質問があった</li> <li>・MRSA感染対策について質問があった</li> <li>・看護婦養成のための高等看護学校の誘致を求める質問があった</li> <li>・上郷町との合併時期について市長の政治決断を求める質問があった</li> <li>・平和予算の創設を求める質問があった</li> <li>・信州いいだ農協発足に伴い、行政と農協が一体となった農業振興を求める質問があった</li> <li>・飯田駅貨物用地跡地取得の経過について質問があった</li> </ul>
平成4年 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学誘致についての質問があった</li> <li>・拠点都市地域の指定を目指すことについて質問があった</li> <li>・学校5日制の受け皿について質問があった</li> <li>・オフトークでの議会本会議中継はじまる</li> <li>・若者定着と工業振興について質問があった</li> </ul>

年	議会の動き
平成4年 (1992年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別委員会にて大詰めの合併協議が行われた</li> <li>・自然環境の保全と環境に優しい社会の実現を期して、「環境宣言」が決議された</li> <li>・市役所の完全週休2日制の導入について質問があった</li> <li>・エイズに対する予防啓発について質問があった</li> <li>・市議会議員補欠選挙</li> <li>・上郷町と平成5年7月1日に合併することを議決した</li> <li>・拠点都市指定に向けての取組状況について質問があった</li> <li>・中学生の問題行動に対する指導について質問があった</li> </ul>
平成5年 (1993年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガットにおけるコメの例外なき関税化の導入を拒否し、基礎的食料の国内自給堅持を求める意見書を可決</li> <li>・地域医療に果たす新市立病院の役割について質問があった</li> <li>・中心市街地のドーナツ化現象への対策について質問があった</li> <li>・市議会議員一般選挙 議長 今村八束、副議長 澤柳辨治郎を選出</li> <li>・上郷との合併関連議案68件を可決</li> <li>・コメの市場開放阻止等を求める意見書を可決</li> <li>・拠点都市の計画策定に関して、高速交通網の整備等について質問があった</li> <li>・上郷合併に伴う議員の増員選挙が行われ、5名が市議会議員に仲間入りした</li> <li>・シャルルヴィル・メジエール市のロジェマス市長が市議会を表敬訪問された</li> <li>・地方拠点都市地域整備促進特別委員会を設置</li> <li>・みどりの基金創設について質問があった</li> <li>・県営サッカー場の誘致について質問があった</li> <li>・不況下での産業振興策について質問があった</li> <li>・天竜川流域にカヌー競技施設の建設を求める意見書を可決</li> <li>・地方分権の実現を求める意見書を可決</li> <li>・コメの市場開放を阻止し、抜本的農業施策実現を求める意見書を可決</li> </ul>
平成6年 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯伊広域行政組合設立に伴う関連議案を可決</li> <li>・4年制大学の誘致について質問があった</li> <li>・市町村の共同出資のバス運行について質問があった</li> <li>・環境、文化、情報化、公共施設の4つのテーマで政策調査研究部会が発足</li> <li>・三遠南信地域に首都機能の移転を目指せという質問があった</li> <li>・サッカーくじ法案化について質問があった</li> <li>・農業集落排水事業実施区域の拡大を求める質問があった</li> <li>・不況下において女性の雇用を守ることを求める質問があった</li> <li>・12年ぶりの水道料金値上げを、建設委員会が3日間にわたる審査のうえ賛成多数で可決した。</li> </ul>



年	議会の動き
平成6年 (1994年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北信越市議会議長会産業・経済対策特別委員会が天竜峡で開催</li> <li>・議会だより100号記念号発行</li> <li>・今村八束議長が友好都市シャルルヴィル・メジエール市（フランス）を訪問</li> <li>・市民の生活環境の確保と市土の均衡ある発展を図るための国土利用計画（飯田市計画）を可決</li> <li>・水道料金を12年ぶりに改定。平均アップ率18・7%を三日間の審議の末に可決</li> <li>・上郷町との合併により、新たな議員定数を調査研究する「議員定数問題調査特別委員会」を設置</li> </ul>
平成7年 (1995年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回臨時会において、今村八束議長・松島年一副議長を選出</li> <li>・「中国の核実験に抗議し、フランスの核実験再開中止を求める決議」を可決し両大使館に意見書を送付</li> <li>・飯田市における政治倫理の確立のため「市長の資産等の公開に関する条例」を可決。これにより市長は資産等の報告書の作成が義務付けられ、閲覧請求が可能になった</li> <li>・上郷町編入合併に伴い5人増の36人となっていた議員数を定数31人にすることを議決</li> </ul>
平成8年 (1996年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全議員による「基本構想審査特別委員会」を設置、第四次基本構想・基本計画「環境文化都市を目指して」を可決</li> <li>・第2回定例会において「第四次基本構想に基づく組織機構改革案」を否決。この採決をめぐり最大会派の明政会が分裂し過半数を割ることとなった。この議案は第3回定例会で一部修正のうえ再提案され起立採決の結果賛成多数で可決</li> <li>・飯田市はあらゆる人権侵害の根絶を誓うため、「人権尊重都市宣言」を可決</li> <li>・「病原性大腸菌O157による食中毒対策に関する意見書」を国関係機関に提出</li> <li>・市議会議員補欠選挙で1人選出</li> </ul>
平成9年 (1997年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会改選（投票率81・9%、上郷町と合併後初、特例による議員数36人から議員定数31人に）</li> <li>・第1回臨時会において、小林利一議長・片桐司郎副議長を選出</li> <li>・市立病院と高松病院の機能、役割分担を検討するために「病院問題特別委員会」を設置</li> <li>・風越山麓に計画された送電線建設に対して景観、電磁波、産業振興、飯田市の環境条例などの観点から第2回、第3回定例会において計6件の請願・陳情があり審査・市政に関する独自の調査をし、政策提言をする「政策調査研究部会」（農業振興・交通施策・観光施策の3部会）がスタート</li> </ul>

年	議会の動き
平成10年 (1998年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員定数削減に続く財政改革で、「議員の各種審議会報酬を辞退すること」を全会一致で可決。長野県下初であり、全国的にも先駆的な取り組み</li> <li>・「インド並びにパキスタンの地下核実験に対する抗議の決議」を可決</li> <li>・第3回定例会において、人形劇カーニバルのあり方について活発な議論を展開</li> <li>・「大型店の元旦営業自粛に関する決議」を可決し、市内大型店に申し入れ</li> </ul>
平成11年 (1999年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成9年にスタートした「政策調査研究部会」が2か年の研究を報告</li> <li>・第1回臨時会において、小林利一議長・中田佳甫副議長を選出</li> <li>・ごみ処理手数料として30円から60円を負担する、「ごみ処理費用有料化」を可決</li> <li>・「公共下水道受益者負担金改定」を可決（面積1㎡当たり現行390円から520円に段階的な引上げ）</li> <li>・「中心市街地総合再生特別委員会」及び「介護保険特別委員会」を設置</li> </ul>
平成12年 (2000年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「政策調査研究部会」（地方分権・ISO・工業振興3部会）が平成12年度1か年の研究を報告</li> <li>・介護保険制度の施行に伴い関連する12件の条例を可決</li> <li>・国民健康保険税事業から介護保険への移行に伴う、「国保税の引き下げ」を可決</li> <li>・公共下水道（平均9.8%）及び農業集落排水施設（7.2%）の「使用料引き上げの改定」を可決</li> <li>・市議会議員補欠選挙で1人選出</li> </ul>
平成13年 (2001年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会改選（投票率75.3%、議員数31人の内女性議員6人が誕生）</li> <li>・第1回臨時会において、西尾喜好議長・牧内信臣副議長を選出</li> <li>・森林・林業・林産業の活性化と山村振興の推進を図ることを目的に「林業活性化推進飯田市議員連盟」が発足</li> <li>・飯田市地域交流センター設置条例（本町一丁目に建設中の「トップヒルズ本町」に「りんご庁舎」を設置、及びその管理について定めるもの）を可決</li> <li>・水道料金（上水道平均4.0%・簡易水道平均2.7%）の「引き上げの改定」を可決</li> <li>・アメリカでのテロの犠牲者に対し黙祷し、「同時多発テロを強く糾弾する決議」を採択</li> </ul>
平成14年 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機関の保有する情報の公開に関する法律が施行されたのに伴い「飯田市情報公開条例」を可決</li> <li>・暴走運転をなくし平穏な地域社会を実現するための「飯田市暴走行為を根絶する条例」を可決</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成14年 (2002年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「飯田市議会の議員の報酬等に関する条例」の一部を改正する条例を可決 (議員の月額報酬3%の引き下げ)</li> <li>・「飯田市議会あり方研究会」を発足</li> <li>・「飯田市差別の撤廃と人権の尊重に関する条例」を可決</li> <li>・菱田春草筆「菊慈童」及び「牧童」を取得することを承認(取得金額3億5千万円)</li> </ul>
平成15年 (2003年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「飯田市福祉医療費給付金条例」を可決(全県統一の自動給付方式を導入)</li> <li>・第1回臨時会において、議長に岩崎和男氏・副議長に渡淳氏を選出</li> <li>・「合併特別委員会」「土地利用特別委員会」「議員定数特別委員会」を設置</li> <li>・「住基ネット関連2議案」を可決(住基カードを希望者に、1枚500円で交付するための条例改正)</li> <li>・「歴史研究所条例案」を可決(市民の教育及び文化の向上発展などに寄与するための研究所を設置)</li> <li>・「ごみ処理手数料の改定案」を可決(環境保全対策により経費増のため、半分を利用者が負担)</li> </ul>
平成16年 (2004年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市議会議員定数を4人減の27人」にすることを可決</li> <li>・「わがまちの“憲法”を考える市民会議」を5月に設置</li> <li>・「飯田市都市計画条例」の一部を改正する条例を可決</li> <li>・「わがまちの“憲法”を考える市民会議」が11月8日、岩崎和男議長に中間報告を提出</li> <li>・「合併関連2議案」を可決(飯田市・上村・南信濃村合併協議会の設置について)</li> <li>・市議会議員補欠選挙で2人選出</li> </ul>
平成17年 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上村、南信濃村との合併関連6議案」を可決</li> <li>・市議会改選(投票率72.3%、議員数27人)</li> <li>・第1回臨時会において、議長に熊谷富夫氏・副議長に林幸次氏を選出</li> <li>・「自治基本条例」「土地利用計画」の特別委員会を設置</li> <li>・「高等学校改革プランの検討に関する意見書」を県に提出(高等学校数の削減を行わないよう求める意見書)</li> <li>・「個人情報保護条例」を可決</li> <li>・一般質問において一問一答方式を試験導入(一括質問一括答弁方式から、一問一答方式に変更)</li> <li>・上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙(定数2、投票率82%、特例により議員定数27人から29人に)</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成17年 (2005年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会本会議の映像生中継をスタート</li> <li>・ 「男女共同参画推進条例」を可決</li> </ul>
平成18年 (2006年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「国民保護法関連2条例」を可決（武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に関連する条例）</li> <li>・ 飯田市における土地利用の基本的な指針を策定「国土利用計画」（第2次飯田市計画）を可決</li> <li>・ 第5次基本構想・基本計画の策定にあたり「基本構想基本計画検討委員会」を設置</li> <li>・ 市民・議会・行政の連携により研究を進めてきた「飯田市自治基本条例」を第3回定例会で議員提出議案として全会一致で議決</li> <li>・ 飯田市の各地区に平成19年度から設置される地域自治区について、「飯田市地域自治区の設置等に関する条例案、飯田市公民館条例の一部を改正する条例」を可決</li> </ul>
平成19年 (2007年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温泉宿舎天竜峡を飯田市が購入することを承認</li> <li>・ 「飯田市土地利用基本条例」を可決</li> <li>・ 「環境文化都市宣言」を可決</li> <li>・ 第1回臨時会において、上澤義一議長・矢澤芳文副議長を選出</li> <li>・ 議員定数の削減に向けて「議員定数特別委員会」を設置し定数を23人に決定</li> <li>・ 「第2回マニフェスト大賞審査委員会特別賞」を受賞（飯田市自治基本条例の制定までの取組みが評価される）</li> </ul>
平成20年 (2008年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「飯田市後期高齢者医療制度に関連した条例」を可決（75歳以上の高齢者に新たな負担となるため議論が集中）</li> <li>・ 「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（子どもの支給対象を小学6年生まで引上げ）</li> <li>・ 「飯田市議会の議員の定数を定める条例」を可決（平成21年4月の選挙から定数23人に決定）</li> <li>・ 議会議案検討委員会に置いて、ポイ捨ての規制に関する条例制定の必要性を調査</li> <li>・ 決算認定に結びつける議会の行政評価がスタート（行政評価の手法を用い決算を認定）</li> <li>・ 「庁舎検討委員会」が発足（3回の委員会を経て市側の新庁舎建設の基本的な方針案を了承）</li> <li>・ 市内20地区で初の議会活動報告会を開催（市政懇談会終了後30分間）</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成21年 (2009年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「副市長の定数を1から2に改める条例」を可決</li> <li>・「土地利用計画特別委員会」を廃止</li> <li>・市議会改選（投票率64・3%、上村・南信濃村との合併特例による議員数27人から議員定数23人に）</li> <li>・第2回臨時会において初の立候補制による正副議長選挙を実施。中島武津雄議長・清水可晴副議長を選出</li> <li>・「リニア中央新幹線の早期実現及び飯田駅設置実現に関する決議」を賛成多数で可決</li> <li>・市内を6ブロックに分け2回目の議会報告会を開催（市民487名が参加）</li> </ul>
平成22年 (2010年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎の建替整備に向け調査研究を行うため「庁舎特別委員会」を設置</li> <li>・「飯田市リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金条例」を可決（リニア中央新幹線の実現に向けた取り組みを強化）</li> <li>・年度内にルート決定が見込まれる中、調査研究を深めていくため「リニア推進対策特別委員会」を設置</li> <li>・「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（子どもの支給対象を中学3年生まで引上げ）</li> <li>・第3回議会報告会を開催（市民469人が参加）</li> <li>・「飯田市地域自治区の設置等に関する条例の一部改正条例」を可決（上村及び南信濃地区を地域自治区に移行）</li> </ul>
平成23年 (2011年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回定例会において東日本大震災支援のための22年度補正予算を可決</li> <li>・第2回臨時会において、上澤義一議長・村松まり子副議長を選出</li> <li>・東日本大震災支援のための23年度補正予算を可決</li> <li>・「飯田市国民健康保険条例の一部改正条例」を可決 （2年連続平均7%の増額）</li> <li>・損害賠償に係る議会未提出案件（110件）について議会を軽視するものとして市側に改善申し入れ</li> <li>・「第5次基本構想基本計画後期計画」を可決（人口目標10万2千人に）</li> <li>・第4回議会報告会を開催（市民444人が参加）</li> </ul>
平成24年 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「議会改革・運営ビジョン」を策定し新たな議会改革の取り組みとして常設の機関「議会改革推進会議」を設置</li> <li>・議会改革の一環として、初の「議長記者会見」を開催、委員会の自由傍聴の実現、本会議のインターネットによる映像配信を開始</li> <li>・新庁舎実施設計を了承</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成24年 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第7回マニフェスト大賞最優秀成果賞」を受賞（行政評価や議会報告会の実践などが評価される）</li> <li>・第5回議会報告会を開催（市民461人が参加）</li> </ul>
平成25年 (2013年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会改選（投票率58・3%議員数23人）</li> <li>・第1回臨時会において、林幸次議長・木下克志副議長を選出</li> <li>・常任委員会を3委員会とし、議員の複数所属をやめ単独所属とする</li> <li>・より開かれた議会運営のため「広報広聴委員会」を設置</li> <li>・委員会審議において初の「議員間自由討議」を実施</li> <li>・初の政策討論会を開催（不法投棄対策について市長に提言）</li> <li>・「ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」を可決</li> <li>・「特定秘密保護法案に対する慎重な審議を求める意見書」を国関係機関に提出</li> <li>・議会の行政評価で「天竜峡温泉交流館管理事業」について、廃止を含め指定管理委託など検討を行うよう提言</li> <li>・第6回議会報告会を開催（市民510人が参加）</li> </ul>
平成26年 (2014年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の行政評価において「農業課合同事務所事業」の廃止、「農作物被害対策事業」「リニア推進事業」「小中連携・一貫教育推進事業」の拡大などを提言</li> <li>・天龍峡温泉交流館の指定管理者管理委託を承認</li> <li>・「手話言語法(仮称)等の早期制定を求める意見書」を国及び県の関係機関に提出</li> <li>・第7回議会報告会を開催（市民543人が参加）</li> <li>・第4回定例会終了後、議場の新庁舎移転に伴う「旧議場のお別れ会」を開催</li> </ul>
平成27年 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初の議会出前講座を広報広聴委員会が実施（松尾小学校）</li> <li>・県下初の対面式新議場で第1回定例会を開催</li> <li>・社会文教委員会が介護保険条例の一部改正に関して自由討議を実施。議案可決後に委員提案の附帯決議を可決。</li> <li>・第2回定例会から淡路結びの水引を議場に設置</li> <li>・第1回臨時会において、木下克志議長・木下容子副議長を選出</li> <li>・「長期欠席議員の議員報酬の特例に関する条例」を議決</li> <li>・「平和安全法制の慎重かつ適正な運用を求める意見書」を国及び関係機関に提出</li> <li>・「飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」を可決（支給対象を満15歳から満18歳に引上げ）</li> <li>・木下克志議長が友好都市シャルルヴィル・メジエール市（フランス）を訪問</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成27年 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第8回議会報告会を開催（市民498人が参加）</li> <li>・ 新教育委員会制度で初の教育長に代田昭久氏を任命することに同意</li> </ul>
平成28年 (2016年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「飯田市議会パネル取扱要綱」、「飯田市議会災害対応指針」を制定</li> <li>・ 基本構想基本計画特別委員会を設置し、次期総合計画「いいだ未来デザイン2028」を審査</li> <li>・ 天龍峡温泉交流館建設に関し、産業建設委員会で自由討議実施後、附帯決議をつけて可決、本会議での委員長報告に対する討論を経て予算案を可決</li> <li>・ 地元産材のPRを目的に飯田市産ヒノキと遠山杉のネームプレートを作成し、全議員が着用を開始</li> <li>・ 議会だより200号記念号を発行</li> <li>・ 7月から9月にかけて議会による行政評価を実施（42施策、19事務事業）</li> <li>・ インターネットで委員会の映像配信を開始（12月12日 総務委員会から）</li> <li>・ 第9回議会報告会を開催（9月～10月、6会場で市民554人が参加）</li> <li>・ 議会議案検討委員会を設置し、議員提出による「飯田産の地酒及び果実飲料で乾杯する条例」を議決</li> <li>・ 議会出前講座を松尾小学校で実施（2回目：2月、3回目：11月）</li> </ul>
平成29年 (2017年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飯田市議会の主催による飯伊市町村議員研修会を開催。藤山 浩氏を講師に迎え、「田園回帰1%戦略」を学ぶ（1月）</li> <li>・ 社会文教委員会が「地域ケアシステムの構築」に関する調査研究を行い、議会全体の政策討論会を経て、議会から市長へ政策提言（3月）</li> <li>・ 産業建設委員会は、「若者定住の促進について」ほか、5つのテーマについて2年間の調査研究活動をまとめ、所管部署へ提案（3月）</li> <li>・ 飯田市スポーツの振興に寄与することを目的に「飯田市議会スポーツ振興議員連盟」が発足（3月）</li> <li>・ 市議会改選（4月16日執行、投票率 57.95%、議員23名うち新人5名）</li> <li>・ 議会出前講座を山本小学校で実施（6月）</li> <li>・ 第5次基本構想の平成28年度分について議会による行政評価を実施（7月～）評価結果に基づく成果や課題を反映させるため、4月からスタートした総合計画「いいだ未来デザイン2028」の戦略計画に対して、市長へ提言（9月）</li> <li>・ 第10回議会報告会を開催（10月、6会場で市民582人参加）</li> </ul>
平成30年 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会出前講座を松尾小学校で実施（1月 6年生143人）</li> <li>・ 飯田市議会の主催による飯伊市町村議員研修会を開催。大森 彌氏を講師に迎え、「自治体議会の改革と議員の法的位置づけ」について学ぶ（1月）</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
平成30年 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リニア推進特別委員会が、リニア駅周辺整備などをテーマとして、商工会議所支部や地域団体と意見交換会を実施（2－3月）</li> <li>・ リニア推進特別委員会が、リニア駅周辺整備を含むリニア関連事業の進め方等に対する要望書を所管部署へ提出（6月）</li> <li>・ 飯田市議会（リニア推進特別委員会）主催による「リニアを活かしたまちづくり講演会」を開催（7月）</li> <li>・ 飯田市の総合計画「いいだ未来デザイン2028」に対する議会による行政評価がスタート。各常任委員会や合同委員会での大局的な評価（森の評価）を経て政策提言を実施（7月－9月）</li> <li>・ 社会文教員会が、「市内小中学校及び保育園等にエアコン設置を求める要望書」を所管部署へ提出（9月）</li> <li>・ 第11回議会報告会を開催（10月 7会場で市民654人が参加）</li> <li>・ 予算決算委員会の設置に向け、予算決算審査検討プロジェクトを発足（12月）</li> </ul>
平成31年 (2019年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報広聴委員会、同委員会内の議会だより検討会議により、議会だよりの見直しを図り、リニューアルパイロット版を発行（1月）</li> <li>・ 飯田市議会主催による「飯伊市町村議会議員研修」を開催。山梨学院大学大学院の江藤俊昭教授を講師に招き議会改革について学ぶ（1月）</li> <li>・ 一般質問等における執行機関側の議員に対する「反問権」の行使について定めた、改正飯田市議会会議規則が施行（2月）</li> <li>・ 総務委員会が、市内3か所で「地域コミュニティーの在り方」について意見交換会を実施（2月）</li> <li>・ 第1回定例会において市長が初の反問権を行使（3月）</li> </ul>
令和元年 (2019年5月～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回臨時会において、湯澤啓次議長・原和世副議長を選出（5月）</li> <li>・ 第1回臨時会において、予算決算委員会を常任委員会として設置。予算・決算及び行政評価を所管し、今後は分割付託されてきた予算・決算議案について一括で付託を行うこととなった（5月）</li> <li>・ 長野県市議会議長会総会を飯田市で開催。龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏を講師に招き「政策議会をつくる議員力・議会力」を学ぶ（7月）</li> <li>・ 予算決算委員会所管による「議会による行政評価」を実施。9月定例会後、議長から市長に対し評価提言書を手交（7月－9月）</li> <li>・ 議会出前講座を山本小学校で実施（10月）</li> <li>・ 議会報告会を開催（10月 7会場で市民743人が参加）</li> <li>・ 議長、副議長及び事務局長が「地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会」に参加（10月－3月）</li> </ul>



年	議 会 の 動 き
令和元年 (2019年5月～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台風第19号で被災地となった長野市へ、長野県市議会議長会を通じて見舞金を送った（11月）</li> <li>・ 議会報告会で出された「小学校のトイレ環境」に対する意見を受けて、社会文教委員会が市内の小中学校全てのトイレ環境の現状把握と学校職員への聞き取り調査を行い、予算決算委員会での審査、本会議での同意をもって市長に提言書を提出した（12月）</li> </ul>
令和2年 (2020年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飯田市議会主催による「飯伊市町村議会議員研修」を開催。(株)地方議会総合研究所代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に招き「議会の活性化と議会運営」について学ぶ（1月）</li> <li>・ 市議会災害対策会議を実施（1月－）</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の影響で市の行事が開催中止（2月－）</li> <li>・ 第1回定例会で新型コロナウイルス感染症対策についての質問が複数あり（3月）</li> <li>・ 第1回臨時会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算等を審議（5月）</li> <li>・ タブレット端末を活用したペーパーレス会議システムについての全員協議会勉強会を開催（6月）</li> <li>・ 「子育ての孤立化」をテーマに、社会文教委員会が「課題共有型えんたく会議」を開催（7月）</li> <li>・ 飯田市の総合計画「いいだ未来デザイン2028」に対する議会による行政評価・提言を行う（9月）</li> <li>・ 議会報告・意見交換会を開催（10月 7会場で市民420人が参加）</li> <li>・ 県知事と市長にリニア中央新幹線関連事業等により移転をお願いする皆さんに係る農振除外手続きに関する要望書を提出（12月）</li> </ul>
令和3年 (2021年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回臨時会を開催し、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業など対策に関する補正予算等を審議（2月）</li> <li>・ 全議員を対象としてペーパーレス会議システムの研修を実施（2月）</li> <li>・ 第1回定例会からタブレット端末を活用した議案審議を試行的に開始（3月）</li> <li>・ 議会、飯田商工会議所、飯田市行政の3者の共同声明として、「ゼロカーボンシティ宣言」を実施</li> <li>・ 市議会改選（4月25日執行、投票率 60.74%、議員23名うち新人9名）</li> <li>・ 第2回臨時会において、井坪隆議長・山崎昌伸副議長を選出（5月）</li> <li>・ 「南アルプスジオパーク」をテーマに議員研修を開催（6月）</li> </ul>

年	議 会 の 動 き
令和3年 (2021年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症デルタ株による急速な感染拡大を踏まえ、議会より市長に対して緊急提言を行う（8月）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策として、抗原定性検査（簡易キット）を活用した水際対策の有効性を伝え、全国的な展開とその支援を要望するため、国に対して意見書を提出（8月）</li> <li>・飯田市の総合計画「いいだ未来デザイン2028」の中期4年間の内容の評価・検証を行い、評価・提言書として市長へ提出（9月）</li> <li>・社会文教委員会が、日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科の宮國康弘氏を講師に、「フレイル予防対策とその評価について」学ぶ（10月）</li> </ul>
令和4年 (2022年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯伊市町村議会議員研修会を開催。同志社大学の新川達郎名誉教授を講師に、「大災害・感染症と議会」について学ぶ（1月）</li> <li>・災害時や新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況にあっても議会機能を維持していくため、飯田市議会委員会条例や会議規則などの改正を行い、委員会等の会議におけるオンライン会議の実施を可能とした（2月）</li> <li>・議会として「ロシアのウクライナに対する侵攻を非難する決議」を全会一致で可決。また、戦禍に見舞われたウクライナの人々を支援するため、市議会議員23人全員で、23万円をユニセフ（国連児童基金）に寄付をした（3月）</li> <li>・「地方議会評価モデル」導入に伴うキックオフ講演会を実施。大正大学社会共生学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏を講師に、「地域経営における議会の役割と地方議会評価モデル」について学ぶ（3月）</li> <li>・4月から「地方議会成熟度評価モデル」の取り組みを開始。飯田市議会の役割（ミッション）や目指すべき姿（ビジョン）等を策定（令和5年3月）</li> <li>・飯田市議会業務継続計画（議会BCP）の策定（5月）</li> <li>・契約に係る議会未提出案件及び職員の不適切な事務処理等に関する申入書を市長へ提出（6月）</li> <li>・新たな広聴の場として「タウンミーティング」を開催（7月）</li> <li>・「議会報告・意見交換会」をコロナ禍の状況を踏まえ、7ブロック14会場で開催（9月～10月）</li> <li>・飯田市内を会場に、三遠南信地域市町村議会議長協議会及び道路建設促進議員協議会総会を開催（10月）</li> <li>・請願・陳情の手引きを作成（11月）</li> <li>・「リニア駅周辺整備事業土木実施設計に対する政策提言」を市長へ提出（11月）</li> <li>・政治倫理に関する研修会の開催（12月）</li> </ul>
令和5年 (2023年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ジェンダー（社会的性別）について共に考える研修会」を下伊那郡町村議会議長会の共催、飯田商工会議所の協力により実施（1月）</li> </ul>

令和5年 (2023年)	<ul style="list-style-type: none"><li>・飯田市議会個人情報の保護に関する条例を制定（3月）</li><li>・飯田市議会会議規則及び飯田市議会議員の議員報酬の特例に関する条例を改正（本会議や委員会への欠席事由として育児、看護、介護等を明文化するとともに、出産について産前・産後期間に配慮した規定の整備）（3月）</li><li>・「オーケストラと友に音楽祭」の15回記念として、議場でのコンサートを開催（4月）</li><li>・第1回臨時会において、熊谷泰人議長・竹村圭史副議長を選出（5月）</li></ul>
-----------------	--